(様式第2-1号申出21\_4)

〇〇年〇〇月〇〇日

国立研究開発法人　国立がん研究センター　理事長　殿

提　供　依　頼　申　出　者

（押印省略）

匿名化が行われた全国がん登録情報の提供について（申出）

標記について、がん登録等の推進に関する法律（平成25年法律第111号）第21条第4項の規定に基づき、別紙のとおり匿名化が行われた全国がん登録情報の提供の申出を行います。

様式第2-1号申出21\_4

1　申出に係る情報の名称

別紙

**匿名化が行われた全国がん登録情報**

2　情報の利用目的

ア　利用目的及び必要性

　　【利用目的】

　　【必要性】

　添付：　研究計画書等

イ　倫理審査進捗状況　*承認済　・　その他*

　その他を選択した場合の理由：

　倫理審査委員会　名称

　　　　　　　　　　承認番号

　　　　　　　　　　承認年月日

3　提供依頼申出者及び利用者について

ア　提供依頼申出者の情報

・法人その他の団体が提供依頼申出者の場合

*代表者氏名：*

*法人その他の団体の名称：*

*法人その他の団体の住所：*

・個人が提供依頼申出者である場合

*氏名：*

*生年月日：*

*住所：*

イ　利用者の範囲（氏名、所属、職名）

添付：様式例第2-3号及び誓約書

添付：調査研究の一部を委託している場合は、委託契約書又は様式例第4-2号

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属 | 職名 | 役割 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

全ての利用者分、表を追加すること。

　所属機関が複数ある場合は、すべての所属機関及び所属する機関における職名又は立場を記載すること。

4　利用する情報の範囲

ア　診断年次

イ　地域

ウ　がんの種類

エ　生存確認情報（該当する方を囲むこと）

*要　・　不要*

①生存しているか死亡しているかの別　　　　　*要　・　不要*

②生存を確認した直近の日又は死亡日　　　　　*要　・　不要*

③死亡の原因　　　　　　　　　　　　　　　　*要　・　不要*

オ　属性的範囲（性別・年齢）

5　利用する登録情報及び調査研究方法

ア　利用する登録情報

必要な限度で**別紙に○**をつけること

イ　調査研究方法　（具体的に記載すること）

　添付：集計表の様式案等

※集計表の作成を目的とする調査研究の場合

アで指定する登録情報等を利用して作成しようとしている集計表の様式案を添付する。

※統計分析を目的とする調査研究の場合

実施を予定している統計分析手法並びに当該分析におけるアで指定する登録情報等の関係を具体的に記述する。

6　利用期間

必要な限度の利用期間を記載すること

7　利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

　　　利用者の安全管理措置に基づき、具体的に記載すること。

ア　情報の利用場所

　　　利用場所が複数ある場合は、すべて記載すること。

イ　情報の利用場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況について

　　＊については、措置している場合はチェックして、措置内容を具体的に記載。

＊のないものについては必須措置である。

（組織的）

＊　統括利用責任者は、個人情報の漏洩等の事故発生時の対応手順を、整備している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（物理的）

＊　個人情報の利用場所及び保存区画は、他の業務から独立した部屋である。

＊　利用責任者は、利用場所への入室を許可する者の範囲を明らかにしている。

＊　利用責任者は、利用場所の入退室時の手続きを明らかにしている。

＊　機器類（ﾌﾟﾘﾝﾀ、ｺﾋﾟｰ機、ｼｭﾚｯﾀﾞなど）は、他の業務と共用せず、利用場所内に設置している。

＊　個人情報の保存区画の施錠は、前室と利用場所等、二重にしている。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

ウ　情報の利用時の電子計算機等の物理的及び技術的安全管理措置状況について

（技術的）

　システム管理者によって管理されている不正侵入検知・防御システム及びウイルス対策機能のあるルータで接続されたネットワーク環境を構築している。

　情報を取り扱うPC及びサーバは、ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの設定を行っている。

　ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを8桁以上に設定し、第三者が容易に推測できるものは避けている。

　ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを定期的に変更し、以前設定したものの使い回しは避けている。

　ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを第三者の目につくところにメモしたり、貼付したりしていない。

　外部ネットワークと接続する電子媒体（USBメモリ、CD-Rなど）を、情報を取り扱うPC等に接続する場合は、ウイルス等の不正なソフトウェアの混入がないか、最新のウイルス定義パターンファイルを用いて確認している。

　情報を取り扱うPC等は、安全管理上の脅威（盗難、破壊、破損）、環境上の脅威（漏水、火災、停電）からの保護にも配慮している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

＊　個人情報を取り扱うPC等は、スタンドアロン又は物理的若しくは論理的に外部ネットワークから独立した有線の環境である。

＊　個人情報を取り扱うPC及びサーバは、生体認証と他の方法との組み合わせによる多要素認証としている。

＊　情報を取り扱うPC及びサーバにチェーン固定等の盗難防止策を講じている。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

エ　情報、中間生成物及び成果物を保存する媒体の種類及びその保管場所並びに保管場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況について

（物理的）

　情報を含む電子媒体及び紙媒体を保管する鍵付きキャビネット等を整備している。

　情報を保存するロッカー、キャビネットは、施錠可能な利用場所に設置している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

8　調査研究成果の公表方法及び公表予定時期

複数の媒体で公表予定の場合は、公表予定時期を含めてすべて記載すること。

9　情報等の利用後の処置

10　その他

事務担当者及び連絡先等を記載する。

　　　　他、必要事項があれば記載する。

事務担当者及び連絡先

*氏名：*

*TEL：*

*MAIL：*

*住所：*